

令和7年度事業計画書（案）

（令和7年3月25日 作成）

1. まちなかの歴史

① 伊勢崎市中心市街地の歴史

本市は明治時代から、全国に知られる繊維産業の町として発達し、戦後は繊維産業の衰退から工業誘致を推進し、県内有数の活力ある産業都市に成長しました。こうした中で、市の中心市街地は、一時、戦災により街なみの多くを焼失したものの、鉄道の玄関口である伊勢崎駅と道路交通の要衝という地の利を得て、周辺地域からも人々を吸引する古くからの商業集積地として発達してきました。

② 境町中心市街地の歴史

境町の中心市街地は、江戸時代から例幣使街道や利根川などの陸運、水運の要地となって栄え、明治時代以降は、蚕種製造業、織物業といった当時の先端産業が中心となって発達してきました。その後、工業団地の造成などにより都市化が進展し、中心市街地周辺部は人口増加が続きました。

2. まちなかの衰退

本市のまちなか（伊勢崎市中心市街地活性化基本計画及び境町中心市街地活性化基本計画に定める中心市街地を指し、ここでは主に伊勢崎駅周辺地域を指します、以下同様）は、駅と道路交通の要衝という地の利を得て、周辺地域からも人々を吸引する、古くからの商業集積地として発展してきました。

しかし、近年ではバイパス道路の整備等に伴い幹線道路沿いへ大規模小売店や飲食店などの商業集積が移行し、これに地元商工業者の高齢化に伴う廃業や人口減少も相まって、まちなかの空洞化が進んでいます。

① 地域産業の衰退

まちなかの事業所数はここ10年間で134件（18.2%）減少しています。市全体では511件（5.8%）の減少にとどまっており、大幅な減少となっています（平成24年度・令和3年度経済センサス活動調査）。

② 人口の減少

外国人人口の増加により市全体の人口は横ばいの傾向にありますが、まちなかの人口はここ10年間で800人以上減少しています。

③ 高齢化の進展

まちなかの高齢化率は35.4%で、市全体の27.4%に比べ8.0%も高くなっています。

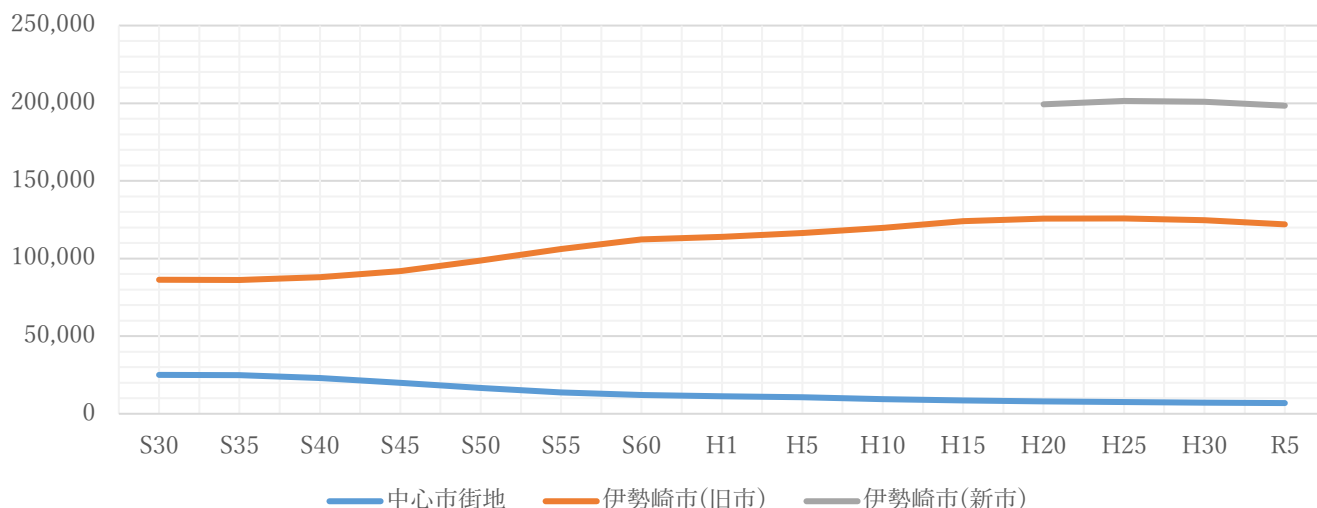
3. まちなか活性化支援会議のこれまで

まちなかにおける経済活力向上による地域課題の解決を支援するため、令和3年8月から伊勢崎商工会議所、アイオー信用金庫、まきばプロジェクト、伊勢崎市の4者でまちなか活性化支援会議を開催し、より緊密かつ継続的にこの取り組みを進めるため、同年12月には4者による連携協定を締結しました。

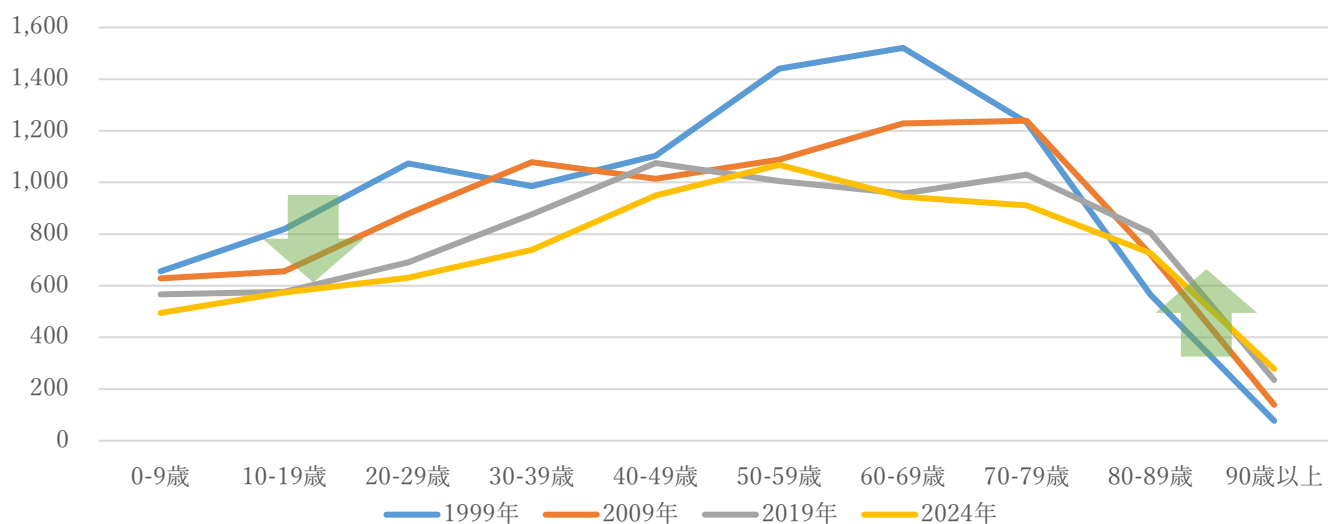
以降、さらに実行力ある組織とするため、群馬伊勢崎商工会、群馬県宅地建物取引業協会伊勢崎支部、全日本不動産協会群馬県支部伊勢崎担当、群馬県（地域支援員）をメンバーに迎えました。

令和5年度からは、地域との連携強化を図るため、北地区及び南地区区長会から委員として迎えています。

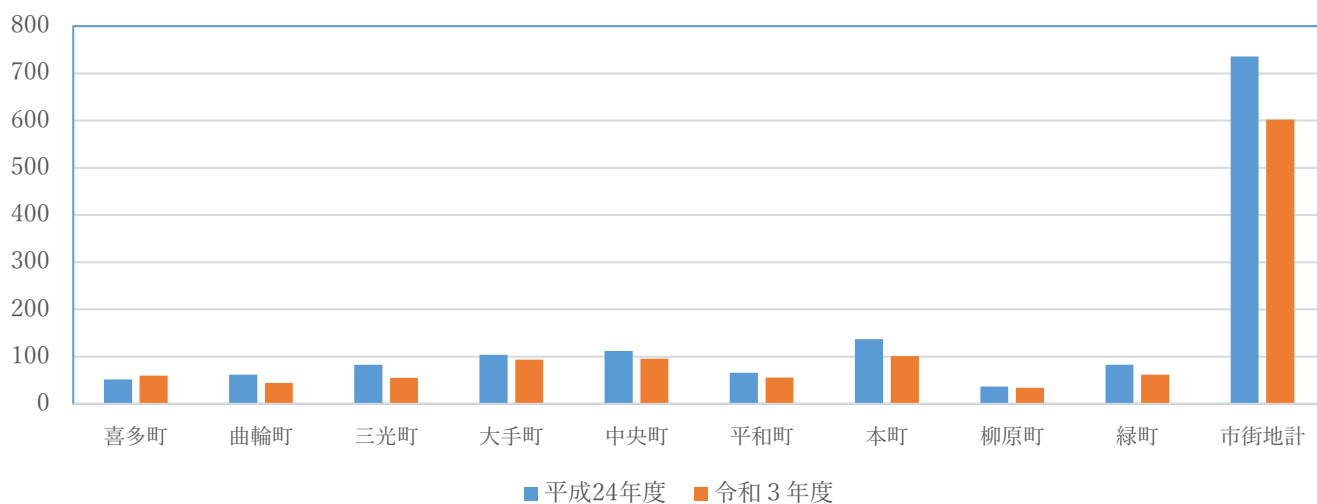
中心市街地※の人口推移 ※曲輪町、大手町、平和町、本町、中央町、緑町、三光町、喜多町、柳原町にて集計



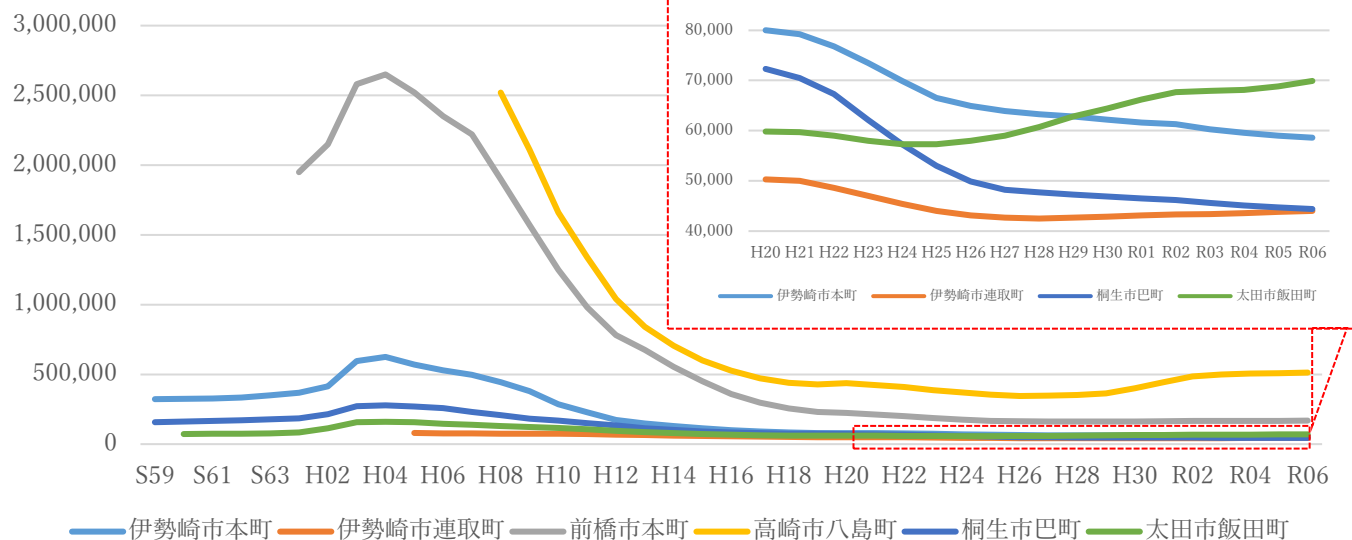
中心市街地の年代別人口推移



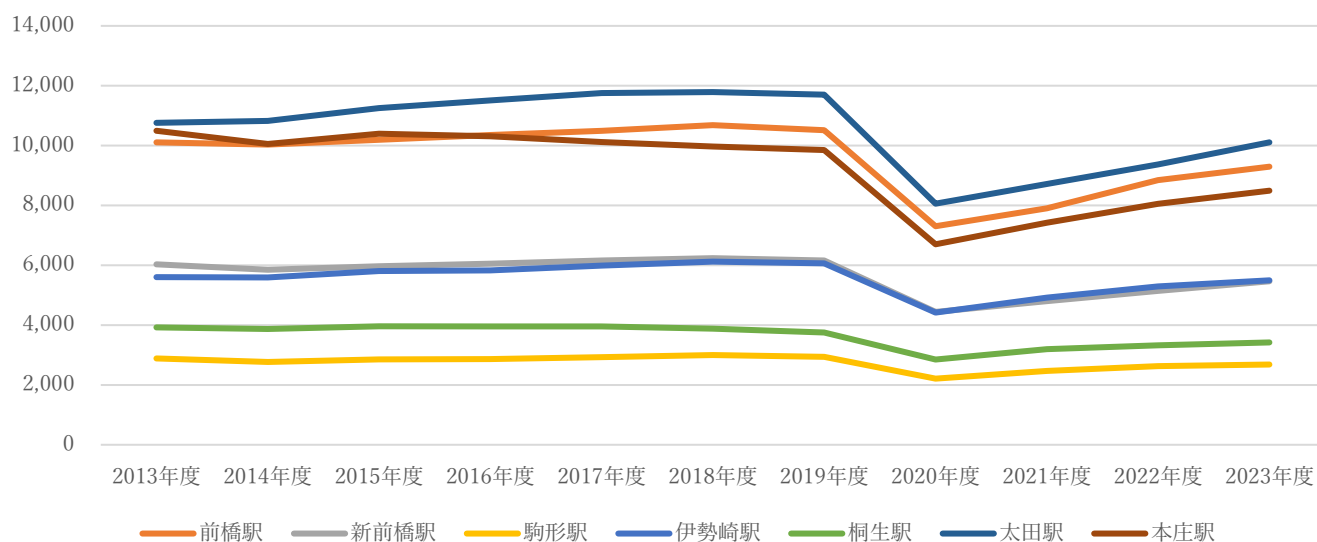
中心市街地の事業所数の推移



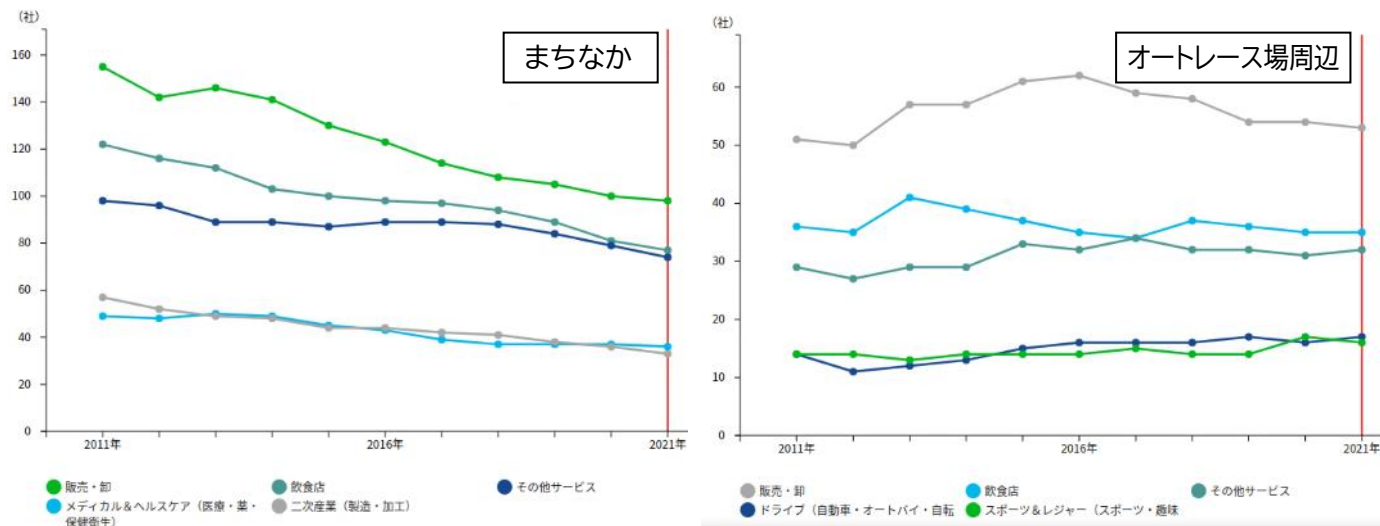
県内主要地の地価公示価格の推移(1㎡あたり)



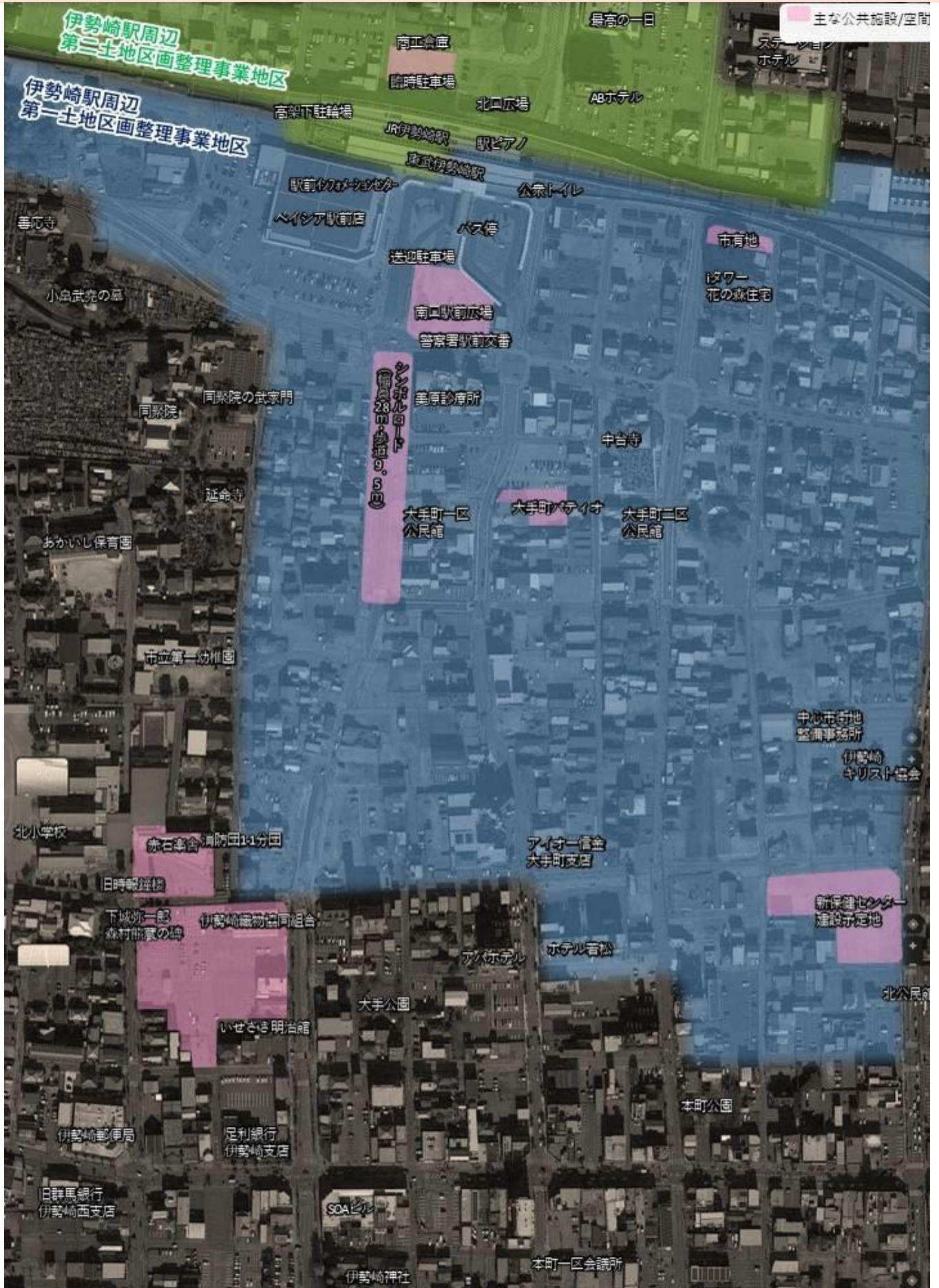
各駅別乗車人員(1日あたり)



産業別事業所立地動向(RESAS 地域経済分析システムから)



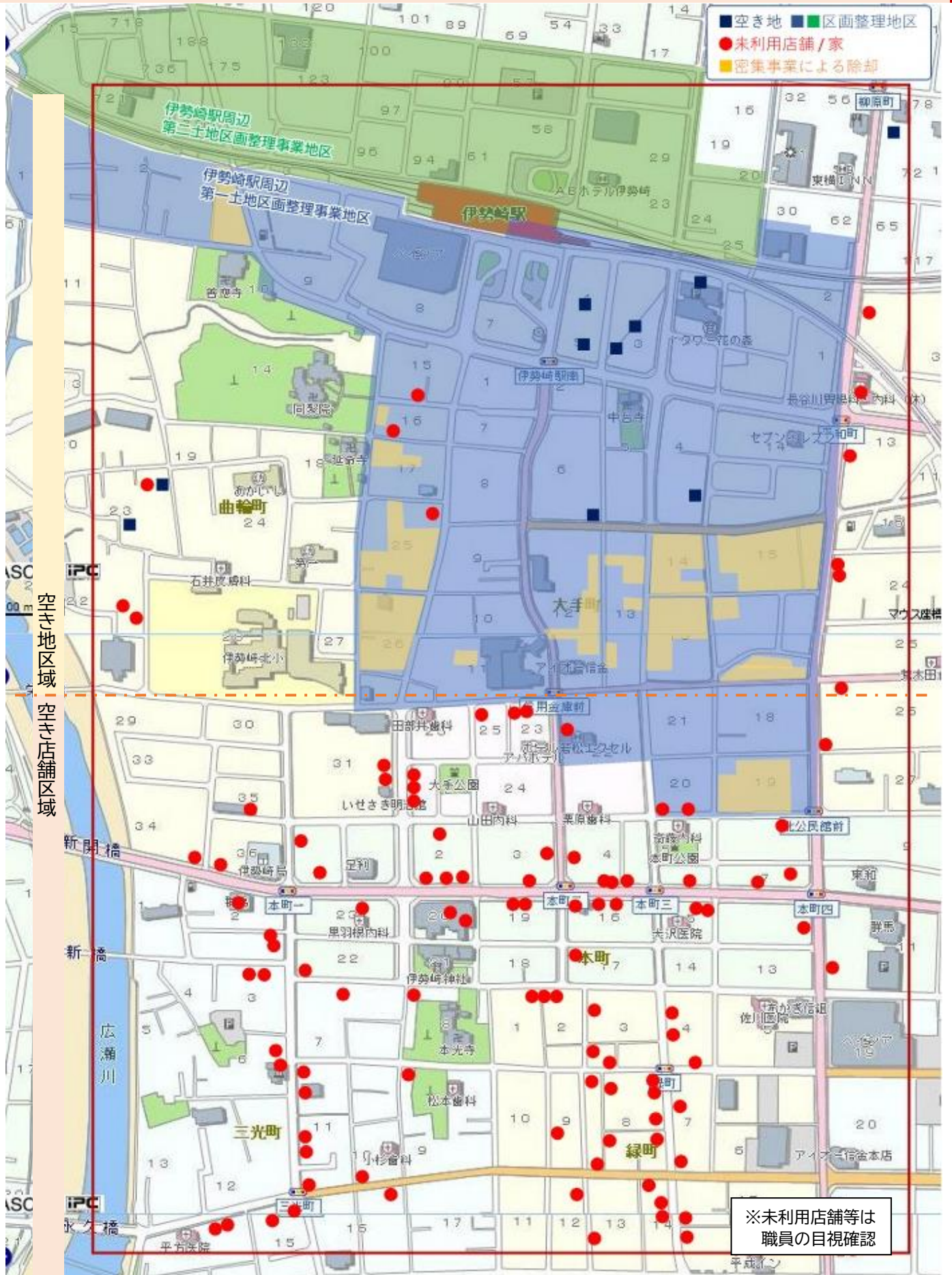
4. まちなかの現状①（主な社会資源等）



駅前インフォメーションセンター 伊勢崎駅周辺の賑わい創出の拠点として、観光資源などの情報の発信をはじめ、まちなか活性化のイベントにも活用できる施設。開館時間は9時～17時。(9-21時へ改正予定)	駅構内、駅南口駅前広場 駅中央には南口と北口を結ぶ自由通路が設置されている。 南口駅前広場は、憩いの場として利用されるほか、いせさき楽市をはじめ各種イベントが開催される。
大手町パティオ スペイン語で「中庭」を意味するパティオ。買い物や散策等のついでに気軽に立ち寄れ、様々な楽しみ方ができる“交流広場”となるよう整備された公園。	シンボルロード 伊勢崎駅南口と県道2号前橋館林線をつなぐ道路。両側に歩道を備えた最大幅員28メートルの道路を整備中。
赤石楽舎/旧時報鐘楼 赤石楽舎は地域交流センターとして北小学校内に設置された施設。旧時報鐘楼は横浜の薬種商小林桂助の寄付で大正5年に建てられた、県内最古の鉄筋コンクリート構造物。	伊勢崎織物協同組合 明治13年に伊勢崎太織会社として設立された、伊勢崎市を中心とした地域の機屋及び関連業種による組合で、140年以上継続している。館内では伊勢崎銘仙の展示販売等を行う。
いせさき明治館 伊勢崎藩医を務めた今村家が明治45年に建造した県内最古の2階建て洋風医院建築物で、平成14年に市に寄贈され現在地へと曳き家移転された。現在は伊勢崎銘仙展示を行う。	伊勢崎神社 主祭神として保食神を祀るほか、大日女命ほか27柱を祀る。創建は鎌倉時代の三浦義澄によるものとして伝えられ、大正15年に社名が飯福神社から現在の伊勢崎神社へ改称した。

中心市街地にぎわい創出拠点(地元への説明資料から) 伊勢崎駅周辺は古くから発達してきた本市の中心市街地ですが、人口減少や商業衰退などの問題を抱えていることから、中心市街地の再生や活性化を図り、便利で快適な街なかを創造し、居住の促進と定住人口の増加によるにぎわい創出に取り組む必要があります。 こうした状況を踏まえ、市では、伊勢崎駅前広場およびくわまるプラザ(保健センター)に加え、中心市街地におけるにぎわい創出の第3の核として、にぎわい創出拠点整備を目指しています。	くわまるプラザ(保健センター)(市HPから) くわまるプラザは、保健センター機能と子育て支援機能を一体的に運用するほか、健康に関する情報発信をする施設です。また、誰でも気軽に立ち寄ることができる施設として、中心市街地の活性化に寄与します。
---	---

4. まちなかの現状②（空き地・未利用店舗【令和7年2月時点】）



5. 令和6年度の主な取組報告

いせさき 楽市 全 13 回	4/20(土)09:00-13:00 南口広場 約 1,000 人 謎解きウォーク、ライブ、駅ピアノ	5/18(土) 09:00-13:00 南口広場 約 1,000 人 軽トラ朝市、マス掴み取り、ライブ、e スポーツ	6/15(土) 09:00-13:00 南口広場 約 1,000 人 軽トラ朝市、ライブ、花苗配布、伊商高
	7/20(土)17:00-20:30 南口広場 約 1,000 人 シンポジウム、クラフトビール、竹灯籠	7/27(土) 17:00-20:30 南口広場 約 1,000 人 フラダンス、クラフトビール	8/3(土) 17:00-20:30 南口広場 約 1,000 人 ライブ、駅ピアノ
	8/10(土) 17:00-20:30 南口広場 約 1,000 人 ダンス、ボッチャ	8/17(土) 17:00-20:30 南口広場 約 1,000 人 かけっこ教室、竹灯籠	8/24(土) 17:00-20:30 南口広場 雨天中止 マジック、ダンス、ミストカー
	9/21(土) 17:00-20:30 南口広場 約 1,000 人 ナイトシネマ、ダンス、竹灯籠、かけっこ教室、駅ピアノ	10/19(土) 09:00-13:00 南口広場 約 1,000 人 ライブ、軽トラ朝市、燈華会、モビリティ	11/16(土) 09:00-13:00 南口広場 約 1,000 人 カラオケ、ボッチャ、花苗配布、軽トラ朝市、モビリティ
	12/21(土) 09:00-13:00 南口広場 約 1,000 人 ライブ	3/15(土) 09:00-15:00 南口広場 約 1,000 人 ダンス、花苗配布、ボッチャ、駅ピアノ	
まちなか 未来学校 全 14 回	第 1 回 4 月 20 日(日)13:00~15:00 商工労働課 駅前 IC 参加者 12 人 補助事業を上手に使おう！		第 2 回 5 月 18 日(土)13:00~14:30 土井一樹氏 (8hammer(株)) 駅自由通路 参加者 20 人 映像のプロが教える！『ショート動画講座』
	第 3 回 6 月 15 日(土)13:30~15:00 奈良のりえ氏 (フリーアナウンサー) 駅前 IC 参加者 29 人 自分のビジネスを「伝える力」を高めよう		 
	第 4 回 7 月 20 日(土)14:00~16:00 いせさきまちなかシンポジウム (市誕生 20 周年記念事業) シンポジウム 登壇者 相木孝仁氏 (株)ベシア代表取締役社長 宮崎晃吉氏 (建築家/一級建築士) 臂泰雄市長 モデレーター 北爪健太氏 (群馬テレビアナウンサー) アフタートーク 片山翔平氏 (craft-life) ほか 赤石楽舎 78 人/南駅前広場 約 80 人 まちなかの未来は どこへ向かうのか 誰が何を担うのか		
			

第5回 8月17日(土)18:30～19:30 北島勲氏 (株)手紙社) 南口駅前広場 参加者約100人 手紙社のイベントのつくり方	第6回 9月21日(土)15:30～17:30 間々田久渚氏 ((一社)ハレルワ) 駅前IC 参加者14人 LGBTQ と職場
第7回 10月11日(金) 19:00～21:00 手島彰氏 (プロダクトデザイナー) 駅前IC 参加者19人 プロダクトデザイナー目線で語るブランディング	
第8回 11月16日(土)14:00～15:30 基調講演 地形から見るまちの姿 宮本亨氏 (エム・トライブ株) シンポジウム 地形と歴史から伊勢崎のまちを見る パネリスト 宮本亨氏 (エム・トライブ株) 笠原実氏 (富岡製糸場世界遺産伝道師協会) 佐藤喜久一郎氏 (育英短期大学准教授) コーディネーター 皆瀬勇太氏 (伊勢崎市まちなか地域おこし協力隊) 伊勢崎市図書館 参加者29人	
第9回 12月21日(土) 14:00～15:30 基調講演 鈴木美央氏 (東京理科大学講師) トークセッション 鈴木美央氏 (東京理科大学講師) 茂木宏美氏 (日本茶専門店茂木園) 高山華代氏 (いせさき銘仙の店華々) スペース KAZE 参加者31人 マーケットで中心市街地を変える	第10回 1月30日(木) 18:30～20:30 西村真理氏 (税理士) 高野こずえ氏 (社会保険労務士) 赤石楽舎 参加者16人 起業セミナー&相談会
第11回 2月22日(土) 13:30～15:30 いせさきまちなか未来学校×まちおしアワード 審査結果発表&アワード授与式 応募数 15作品 (大賞)まち×おかみ~老舗改革を支えたもの~ 記念講演 田中元子氏 (株)グランドレベル) 赤石楽舎 参加者70人 1階づくりはまちづくり	
第12回 3月15日(土) 12:00～13:00 塩崎啓示氏 (LACCO TOWER) 真一ジェット氏 (LACCO TOWER) 市川まどか氏 (FM GUNMA) 南口駅前広場 参加者80人 音楽を仕事にする	第13回 3月16日(土) 10:00～12:00 モデレーター 堤洋樹氏 (前橋工科大准教授) コメンテーター 片山翔平氏 (craft-life) 石原圭一氏 (アイオー信用金庫) 赤石楽舎 参加者32人 まちなかにぎわい再生事業費補助金活動報告

	特別回 9月～3月 いせさきわたしごとスクール 講師 片山翔平氏 (craft-life) 受講生 小林香穂さん (市立四ツ葉学園中等教育学校 5 年生) 伊勢崎グルメ市 3 月 1 日(土) 11:00～15:00 駅自由通路 本木花梨さん (市立四ツ葉学園中等教育学校 5 年生) 古本マルシェ 3 月 1 日(土) 12:00～17:00 駅自由通路
中心商店街 にぎわい 再生事業費 補助金 全12団体	伊勢崎地区 1. ISESAKI ハワインサマーフェスティバル実行委員会 異文化に触れあう機会を通じ、異文化への理解を促進し、多文化共生のまちづくりに寄与する。市域外からも魅力を感じる「暑い街・伊勢崎」としてのブランド力を高める。 2. 認定栄養ケア・ステーションいせさき (公社)日本栄養士会主催によるイベント「栄養ワンダー」をいせさきにおいても開催し、食育イベントを通しまちなかのにぎわいを創出していく。 3. 路地裏ちようちん会 緑町エリアの路地裏のイメージアップを図るため、気軽に足を運んでもらうきっかけ作りとして路地裏ビアガーデンを実施する。 4. OCHAVA マルシェ実行委員会 茂木園本店裏を利用しマルシェを開催。テーマは「まちの食卓」。地元伊勢崎産の新鮮野菜やパン、手作り品等の販売、ワークショップ等を開催。17 日は音楽演奏を行う。 5. いせさき音楽の一日プロジェクト 日頃は無機質な駅周辺を音楽（主に生演奏）の持つ「つながる力」と「和み・安らぐ力」により集う人が笑顔になる場所へ変える事を目的に、ライブ演奏等のイベントを行う。 6. 伊勢崎神社えんにち実行委員会 地域コミュニティの結束を強化する。神社を訪れる機会を提供し文化や伝統を紹介する。子供に楽しみつつ学ぶ機会を提供する。交流拠点として神社の価値を発信する。 7. 銘仙のまち伊勢崎プロジェクト いせさき楽市等の事業と連携し、「いせさき銘仙」の展示や小物販売等の事業を通じて、銘仙の魅力を伝え、新たな価値を創造することによるまちおこしにつなげる。 境地区 8. Doll's tea party 東京で開催されてる人形のイベントを伊勢崎で開催することで、他県からの来場者を呼び込む。境中心市街地の地域商店街の利用を促進し、地域の魅力を発信する。 9. 西の市実行委員会 空洞化が進行する境中心市街地で地域商店街を中心に西の市を開催、地域の顧客を呼び戻し、商業の活性化を図るとともに地域社会の活性化及びイメージアップに貢献する。 10. さかい・赤レンガまつり実行委員会 境赤レンガ倉庫を中心にイベントを開催し中心商店街への集客を図り、市民とのコミュニケーションと中心市街地の活性化を図ると共に、境地区全体の文化振興に寄与する。
	  (ISESAKI ハワインサマーフェスティバル実行委員会)   (認定栄養ケア・ステーションいせさき)

社会実験
(公共空間
の活用)

伊勢崎駅自由通路 7月20日(土)～8月31日(土)

ISESAKI TINY SHOP (イセサキタイニーショップ)

協力 前橋工科大学 TSUTSUMI LAB./まきばプロジェクト

出店者 21事業者

出店料 無料

1日平均来客数 8.2人(うち購入客数 4.7人)



合計売上額	出店者の割合
～5,000 円未満	64.7%
5,001 円～10,000 円未満	11.8%
10,001 円～30,000 円未満	17.6%
30,001 円～50,000 円未満	0.0%
50,001 円以上	5.9%

アンケート	回答者の割合
社会実験期間終了後も、また出店したいですか。	
・出店したい	64.7%
・出店したくない	35.3%
出店したい理由を教えてください。	
・売り上げが良かった	9.1%
・出店料がかからなかった	72.7%
・店舗の宣伝ができた	54.5%
・日頃と異なる客層を開拓できた	27.3%
・この社会実験が定着してほしい	45.5%
・地域の盛り上げに協力したい	63.6%

シンボルロード 10月19日(土) / 11月16日(土) 09:00～11:30

次世代モビリティ (C+walk S、C+walk T (トヨタ自動車(株)製))

機材提供 (一社) 公緑クロス機構

参加者 22人 / 44人

参加費 無料

「いせさき楽市」と「いせさき軽トラ朝市」の会場を結ぶ歩道

シンボルロードの活用と中心市街地の周遊性についての検討



アンケート	回答者の割合
参加者の年代	
・0～20 代	15.2%
・30～50 代	40.9%
・60 代以上	28.8%
・未回答	15.1%
まちなかを散策するきっかけになるとおもいますか。	
・思う	65.2%
・やや思う	18.2%
・あまり思わない	1.5%
・思わない	0.0%
・未回答	15.1%

6. まちなか未来学校におけるアンケートの結果

	未来 学校 1	未来 学校 2	未来 学校 3	未来 学校 4	未来 学校 5	未来 学校 6	未来 学校 7	未来 学校 8	未来 学校 9	未来 学校 10	未来 学校 11	未来 学校 12	未来 学校 13	特別 回	合計
知ったきっかけ															
・市ホームページ	－	0	0	5	1	－	4	4	1	0	－	－	0	－	15
・回覧板チラシ	－	2	6	6	4	－	1	4	3	1	－	－	1	－	28
・SNS(FB,Insta)	－	3	4	6	1	－	1	0	1	0	－	－	1	－	17
・知人の紹介	－	1	1	2	6	－	3	4	3	0	－	－	0	－	20
・その他	－	0	0	2	2	－	2	2	4	1	－	－	0	－	13
参加した動機															
・将来に関心	－	2	8	19	10	－	6	10	8	1	－	－	1	－	65
・何か行動したい	－	4	4	4	2	－	6	2	5	2	－	－	2	－	31
・創業したい	－	1	0	2	2	－	1	0	1	1	－	－	1	－	9
・空き店舗活用	－	2	1	4	2	－	4	1	2	0	－	－	0	－	16
・その他	－	1	2	1	5	－	2	4	3	1	－	－	0	－	19
自身の今後の影響															
・大変そう思う	－	3	8	4	5	－	5	3	4	0	－	－	2	－	34
・そう思う	－	3	3	13	6	－	4	8	6	2	－	－	0	－	45
・あまり思わない	－	0	0	4	3	－	1	2	0	1	－	－	0	－	11
・全く思わない	－	0	0	0	0	－	0	0	1	0	－	－	0	－	1
まちなかでの活動															
・既に活動	－	1	3	5	1	－	3	4	2	1	－	－	0	－	20
・活動したい	－	3	7	8	5	－	5	1	6	0	－	－	2	－	37
・どちらでもない	－	2	2	7	7	－	2	7	2	2	－	－	0	－	31
・活動したくない	－	0	0	0	1	－	0	1	2	0	－	－	0	－	4
支援会議の評価															
・大変有効	－	0	1	1	3	－	1	2	1	0	－	－	0	－	9
・ある程度有効	－	2	2	2	1	－	3	3	4	0	－	－	1	－	18
・続けること	－	4	6	12	5	－	4	3	4	2	－	－	1	－	41
・あまり効果が無い	－	0	1	3	1	－	2	3	1	0	－	－	0	－	11
・全く効果が無い	－	0	0	0	0	－	0	0	0	0	－	－	0	－	0
・取組を知らない	－	0	1	2	2	－	1	2	1	1	－	－	0	－	10

自由記載から抜粋

- ・伊勢崎駅構内での開催でしたが、**街を歩く人の目に留まる**ところで開催したのは良かったと思います。
- ・まちなかで、このような取り組みを行うこと、**継続していくことの意義は大きい**と思いますので、ぜひ継続してってください。
- ・まちなか未来学校は**まだまだ認知度が低い**と思うので、いろんな場所で開催することで宣伝にもなってとても良いと思います。
- ・いろいろな取り組みをされていることは、**非常に共感が持てます**。これからも地域の活性化交流の場として参加できる企画があればよいと思います。
- ・**誰でも参加しやすく**、わかりやすい取り組みだと思っています。
- ・**自分のビジネスに向き合える機会**ができて良かった。
- ・**伊勢崎市を盛り上げるのを見るのが好き**なので、これからも開催をお願いします。
- ・今日はじめて参加しましたが、**次回も参加したい**と思うくらい良かったです。
- ・まちなかを**元気づけるためのヒント**を聴けた気がします。
- ・**意識変革**となる心に届く素晴らしい講義を学ぶ機会をいただきありがとうございます。
- ・**毎回テーマがとても面白い**です。今後も期待しています。
- ・まちなかを活性化させるために何ができるか**考えさせる一日**となった。

7. 令和6年度における課題と取組

設定した課題	解決のための取組	取組の詳細
(1)まちなかの未来像が 明らかでない	①いせさきまちなか宣言 ②まちなかシンポジウム (関連)中心市街地活性化基本 計画【市】	①オリジナルイラストを用いたバッジの配布に加え、セミナー・シンポジウム事業の開催毎にまちなか宣言の内容をパンフレットに掲載し、宣言の周知を図りました ②シンポジウムは(株)ベisia相木代表取締役様をお迎えして開催し、今後のまちなかのあり方について討論していただきました。また、夜の部を南口駅前広場で開催し、雨天の中、多くの方がまちづくりを考えるキッカケとなりました
(2)賑わいの担い手を更 に生み出すことが必 要	③まちなか未来学校 拡充 ④いせさき楽市 ⑤まちなかにぎわい創出事業 ⑥中心商店街にぎわい再生事 業費補助金【市】 ⑦まちなかイノベーター（地域 おこし協力隊）	③原則、いせさき楽市の開催に併せて毎月開催しました。起業家向け少人数講座から 100 人を超える方への講演会等、幅広い内容を企画しました。 ④第三土曜日の開催が定着し、毎回安定した来場がありました。雨天等による開催中止は1回でした。7～9月の夜市はお酒や料理を楽しむ地域住民の喜ぶ声も聞こえました ⑤にぎわい創出事業としてマスの掴み取りやナイトシネマ、カラオケ大会等の新たな取組も行われ、家族連れの来場が増加しました ⑥にぎわい補助金 10 件を採択し、路地裏ビアガーデンや OCHAVA マルシェ等、まちなかを舞台に意欲的な取組が見られました ⑦活動2年目の隊員が謎解きウォークや和菓子ストリート等の新規イベントを企画し、また、ユーススペース開設により若者の定着を図るなど意欲的な活動が行われました。
(3)まちなかでの創業に 高いハードルがある	⑧創業促進サポート補助金（ま ちなか加算）【市】 ⑨特定創業支援事業【市】 ⑩まちなか空き店舗調査 ⑪外部人材の活用（空き店舗対 策検討部会の設置）新規 (再掲)まちなか未来学校	⑧/⑨補助金を受給した方のうち1名がまちなかで創業となりました。 ⑩令和4年度に続きまちなか空き店舗の実態調査を行い、駅付近と本町通り以南でのまちの構造の2極化状態が継続している旨を確認しました。 ⑪空き店舗活用検討部会の開催にあたり、広い知見を持つ KLC(株)小林代表をアドバイザーに招き議論を行いました。
(4)まちなかの公共空間 が十分に活用されて いない	⑫TINY SHOP 事業 ⑬次世代モビリティ実験 ⑭まちなか未来学校特別編 (再掲)いせさき楽市 ※駅周辺 公共空間の更なる活用 (関連)駅前インフォメーションセンター管理 運営事業【市】	⑫市民のチャレンジ契機の醸成と経済活力の向上を目的として、7/20 から 8/31 の期間で伊勢崎駅構内での出店を募る事業を行いました。 ⑬(一社)公縁クロス機構の協力により、トヨタ社製 C+Walk を活用したシンボルロード移動社会実験を行いました。 ⑭高校生が自主企画の検討から実践まで体験する事業において、駅構内自由通路を活用しました。

(5)地域住民や地元商店街との連携が十分ではない	⑮小規模事業者サポート補助金【市】 ⑯学生と地域との連携によるシャレットワークショップ ⑰まちおし AWARD (再掲)中心商店街にぎわい再生事業費補助金[再掲] (関連)商工会議所/商店会連合会事業【連携協力】	⑮小規模補助金を活用し、まちなかの既存の事業者が経営改善に取り組みました。 ⑯日本建築学会が開催した学生と地域との連携によるシャレットワークショップの開催を支援し、多くの地域住民の声を活かした学生たちの提案が生まれました。 ⑰まちおし AWARD 実行委員会と連携し、まちに関するコラムを募集表彰、記念講演会を開催し、多くの来場者がありました。 (関連)ISECA と連動したデジタルスタンプラリーへ地元商業者が参加、楽市や軽トラ朝市の開催と併せてまちなかでの回遊性の高まりがありました。
重点取組(1) まちなかの公共空間の可能性を広げる	・前橋工科大学及びまきばプロジェクトと連携し、伊勢崎駅構内自由通路で TINY SHOP 事業を期間限定で実施しました。 ・公緑クロス機構と連携し、仮舗装を行ったシンボルロード歩道上で次世代モビリティの走行の実験を行いました。 ・駅前インフォメーションセンターの活用促進を図るため、令和7年4月からの窓口運營業務に民間活力を導入する上で、料金や開設時間等の検討を行いました。	
重点取組(2) 創業につながる空き店舗の活用を検討する	・空き店舗活用検討の専門部会を設置し、市民調査を経て、まちなか空き店舗を活用した起業支援の取組と、空き店舗流通促進のための関係団体の連携を中心とした提言を、3月末に市長へ提出(別冊)しました。	
重点取組(3) まちなか活性化に取り組む人材を発掘し育成する	・「まちなか未来学校」を毎月開催し、学びながらまちなかで地域活性化に取り組む人材の発掘・育成に努めました。 ・地域おこし協力隊員2人の活動を支援するとともに、新たな隊員1人の募集を行い、一宮氏を最終候補者として選出しました。 ・まちなかにぎわい創出事業10件を事業採択し、各主体への伴走支援を通じて、まちなかでのにぎわい創出を支援しました。	

8. いせさきまちなか宣言

まちなかの活用における約束事であり、まちなかに関わる全ての人に共有してもらいたい将来像として、令和4年度に市民アンケート等に基づき「まちなか宣言」を策定しました。イラストは市内在住イラストレーターうくい氏によります。発表後は巡回展示を行い、令和5年度はバッジやパンフレットでの周知を行いました。



まちなかを全力で楽しむイベントを、みんなで楽しみながらつくります。



まちなかの空き家や空き地を、工夫とアイデアで生まれ変わらせます。



いつでも誰でも、安心して安全に歩けるまちなかを、みんなで作ります。



まちなかの緑をみんなで育てて、交流の場として大切に活用します。



歩きや自転車の移動が楽しい、人が中心のまちなかを一緒につくります。



歴史的な建物やお祭りなどに積極的に触れて、まちの伝統や文化を守ります。



アートや音楽を伝えたい人と楽しむ人が融合する、素敵な空間にします。



新たな挑戦に取り組む若者たちを応援し、参加しやすいまちなかにします。

9. 令和7年度における課題の整理

令和6年度の事業を元に、次年度に向けた様々な意見を踏まえつつ、令和7年度における課題を整理します。
また、各課題に対応するまちなか活性化支援会議の取組（関連の取組を含む）と併せて、次のとおり掲げます。

令和6年度に掲げた課題	令和7年度に掲げる課題と対応する取組
(1) まちなかの未来像が 明らかでない	(1) まちなかの未来像が明らかでない まちなかでは区画整理やにぎわい創出拠点の整備が進んでいます。一方、官民連携での活性化事業も本格化しています。このような状況で、まちなかにどんな未来を描くのか、誰がどんな役割を担うのか、関係者が広く共有することが必要です。 取組① いせさきまちなか宣言 取組② 都市再生推進法人制度等、まちづくり制度の調査研究 NEW
(2) 賑わいの担い手を更 に生み出すことが必 要	(2) 賑わいの担い手を生み出し続ける仕組みが必要 いせさき楽市の定例開催や中心商店街にぎわい再生事業費補助金等により、新たな活動の担い手は確実に生まれています。このにぎわいを日常化するために、まちなかでの新たな挑戦を支援し、賑わいの担い手として育てる施策が必要です。 取組③ まちなか未来学校 取組④ いせさき楽市 取組⑤ まちなかにぎわい創出事業 取組⑥ 中心商店街にぎわい再生事業費補助金【市】 取組⑦ まちなかイノベーター（地域おこし協力隊）
(3) まちなかでの創業に 高いハードルがある	(3) まちなかでの創業に高いハードルがある まちなかでの創業を促進するためには、創業に向けたノウハウの支援、小さく始める場の支援、創業へ金銭的な支援、創業に適した物件確保の支援が必要です。 取組⑧ 特定創業支援事業【市】 取組⑨ 駅前インフォメーションセンター管理運営事業 取組⑩ 創業促進サポート補助金（まちなか加算）【市】 取組⑪ まちなか不動産活用の調査研究 NEW （再掲） いせさき楽市・まちなか未来学校
(4) まちなかの公共空間 が十分に活用されて いない	(4) まちなかの公共空間が十分に活用されていない まちなかに持続可能なにぎわいを創出する「まちの機能再編」のため、また、民有地・民間の低未利用施設に対する投資の呼び水的な役割として、公民連携による公共空間の利活用を推進することは、大変重要な役割を果たすと言えます。 （再掲） いせさき楽市・まちなか未来学校 （再掲） 駅前インフォメーションセンター管理運営事業
(5) 地域住民や地元商店 街との連携が十分で はない	(5) まちなかへ関係人口を迎え入れるための観点が十分ではない 地域で生活する方や学生、実際に活動する様々な関係者との連携や自主的な活動の支援体制が重要です。 取組⑫ 小規模事業者サポート補助金【市】 （再掲） 中心商店街にぎわい再生事業費補助金[再掲] （再掲） 駅前インフォメーションセンター管理運営事業 （関連） 商工会議所/商店会連合会事業【連携協力】 （再掲） まちなかイノベーター（地域おこし協力隊）

10. 令和7年度重点取組事項

(1) まちなかの公共空間の可能性を広げる

いせさき楽市やまちなか未来学校など支援会議が主催する各種イベントの機会を最大限に活用しながら、駅構内自由通路や南口駅前広場、シンボルロード等の駅周辺の公共空間を中心に、積極的な利活用の事例を社会実験として積み重ねていきます。また、実験を通じて民間団体の活用ニーズの把握や利用手続の必要性等を把握し、更なる社会実験に反映させることで、将来の制度化に向けて取組めます。

(2) 伊勢崎駅前インフォメーションセンターをまちづくりの拠点として活用する NEW

駅前インフォメーションセンターは、令和7年4月1日からにぎわい創出のための活動の場となることがその目的に加わります。センターが人々が集い、憩い、交流するまちづくりを推進する拠点となるよう、地域の方々やまちなかで活動する方々、窓口業務の受託事業者と連携を図りながら、活力あるまちづくりを実現するための活用方法や今後の適正な運営方法について考えていきます。

(3) まちなかで学生が日常的に活躍できる機会を創出する NEW

まちなか地域おこし協力隊員のユーススペース開設により、まちなかでの学生の日常的な活動の機会が生まれ始めています。また、令和7年3月1日に開催した未来学校特別編では、伊勢崎駅構内自由通路を会場にして、四ツ葉学園5年生の2人が自らのアイディアを形にしたイベントを開催しました。このような流れに駅前インフォメーションセンターの民間活用への開放も加わり、学生がまちなかで自己実現するための場の創設について取り組んでいきます。

11. R7 年度 年間イベントスケジュール案

月	会議関係	いせさき楽市	未来学校等	関連イベント
4月	4/1 委員選出依頼	4/19 楽市	原則、月1回開催	1日 各種補助金募集開始
5月	下旬 会議①	5/17 楽市		
6月	下旬 会議②	6/21 楽市		
7月		7/19 夜市		夜市開催を検討
8月	下旬 会議③	8/16 夜市		▼
9月		9/20 夜市		下旬 協力隊募集開始
10月	下旬 会議④	10/18 楽市		
11月		11/15 楽市		下旬 イルミネーション
12月		12/20 楽市		▼
1月	中旬 会議⑤			
2月				
3月	下旬 会議⑥	3/21 楽市	▼	下旬 協力隊就任式

(日程は変更する場合があります)

12. 伊勢崎市まちなか活性化支援会議 要項

(令和7年3月 現在)

- (設置) 伊勢崎市
- (名称) 伊勢崎市まちなか活性化支援会議
- (目的) 経済活力の向上を通じたまちなかの活性化
- (定義) まちなか…伊勢崎市中心市街地活性化基本計画で定める中心市街地活性化基本計画区域
- (活動) 本会は次の各号に掲げる活動に取り組む
- (1) まちなかにおける創業促進施策に関すること
 - (2) まちなかにおける経済状況等の把握に関すること
 - (3) その他、まちなかの経済活力の向上に有効な施策に関すること
- (委員) 本会は次の各号に掲げる者から推薦された者をもって構成する
- (1) 伊勢崎市
 - (2) 伊勢崎市北地区区長会 (まちなかの住民を代表する団体)
 - (3) 伊勢崎市南地区区長会 (同上)
 - (4) 伊勢崎商工会議所 (創業支援及び商工振興に関わる経済団体)
 - (5) 群馬伊勢崎商工会 (同上)
 - (6) アイオー信用金庫 (市内に本拠を置く金融機関)
 - (7) 群馬県宅地建物取引業協会伊勢崎支部 (空地・空店舗の活用に関わる団体)
 - (8) 全日本不動産協会群馬県本部 (同上)
 - (9) まきばプロジェクト (市街地活性化に取り組む市民団体)
 - (10) その他、構成員が特に必要であると認める者
- (会議) 本会は委員の過半数が必要と認めた場合に、会議を開催する
- 2 委員は、事故その他のやむを得ない理由により会議に出席できないときは、代理人を出席させることができる
 - 3 委員の過半数が必要と認めた場合に、オブザーバーとして、会議に委員以外の者の出席を求めることができる
 - 4 委員の過半数が必要と認めた場合に、委員及びオブザーバーに専門性を確保したメンバーや見識あるアドバイザーを加え、専門部会を当該年度の3月31日までを有効期間として設置することができる。ただし、会議において委員の過半数が必要と認めた場合に、その有効期間は1年延長されるものとする
- (事務局) 本会の事務を処理するため、事務局を置く
- 事務局の運営に必要な事項は、伊勢崎市産業経済部商工労働課が処理する
- (補足) この要項に定めるもののほか、本会の運営等に関して必要な事項は、別に定める

13. まちなか活性化支援会議 名簿

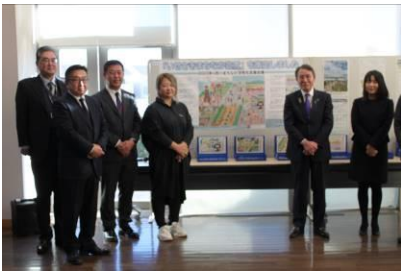
(令和7年3月現在、敬称略)

委 員	行政区	北地区区長会	大手町三区	区長	和佐田憲央
	行政区	南地区区長会	中央町一区	区長	池田 育兄
商工関係	伊勢崎商工会議所	中小企業相談所	所長	年代	智宏
	群馬伊勢崎商工会		事務局長	栗田	浩
金融関係	アイオー信用金庫	営業推進部	部長	石原	圭一
不動産関係	群馬県宅地建物取引業協会伊勢崎支部	厚生・広報委員長		角内	久世
不動産関係	全日本不動産協会	群馬県本部	東毛地区担当	大和	久雅史
市民団体	まきばプロジェクト		代表	秋山	麻紀
伊勢崎市	産業経済部	商工労働課	課長	石原	真二
	不動産関係	群馬県宅地建物取引業協会伊勢崎支部	支部長	飯島	学
オブザーバー	群馬県	地域創生部	地域創生課	地域支援員	富澤 裕介
	伊勢崎市	産業経済部商工労働課	まちなか活性化係		
事 務 局	伊勢崎市産業経済部商工労働課	まちなか活性化係			

14. まちなか活性化支援会議のこれまでの取組み

令和3年度	8月26日	第1回開催（本会議の目的、中心市街地の現状ほか）
	9月22日	第2回開催（会議要項、市の制度説明、意見交換ほか）
	11月18日	第3回開催（協定締結について）
	12月10日	協定締結 最終検討会議（事務局長レベル）
	12月23日	協定締結
	1月13日	第4回開催（安中市地域おこし協力隊ほか）
令和4年度	2月21日	第5回開催（空き店舗調査報告、空き店舗状況ほか）
	3月24日	第6回開催（茨城県北地域おこし協力隊、年間計画ほか）
	5月13日	第1回開催（ワークショップ、まちなか宣言、専門部会設置ほか）
	6月30日	第2回開催（ワークショップ、地域おこし協力隊、シンポジウムほか）
	7月16日	まちなかワークショップ（8月6日、20日）
	8月1日	まちなか市民アンケート（～11月20日）
	8月30日	第3回開催（ワークショップ、地域おこし協力隊、市民アンケート、まちなか宣言）
	9月17日	まちなかシンポジウム
	9月29日	第4回開催（シンポジウム、トークライブ、創業支援事業、地域おこし協力隊）
	10月3日	まちなか活性化トークライブ
	10月27日	第5回開催（地域おこし協力隊、まちなか宣言、空き店舗調査、R5年度活動方針）
	11月18日	Instagram 情報発信セミナー
	11月29日	第6回開催（まちなか公共施設、市民団体事例発表、まちなか宣言ほか）
	1月4日	まちなか宣言巡回展示（～3月10日）
	1月10日	第7回開催（まちなかイノベーター一次選考）
	2月24日	第8回開催（地域おこし協力隊、空き店舗調査、まちなか事業者意見交換）
	3月24日	第9回開催（年間計画、地域おこし協力隊）
令和5年度	5月24日	第1回開催（要項改正、にぎわい補助金、ワークショップ、イノベーター報告）
	6月29日	第2回開催（部会設立、にぎわい補助金、イノベーター報告）
	7月4日	第1回専門部会
	7月15日	まちなかシンポジウム／日本建築学会関東支部第24回提案競技現地説明
	8月21日	第2回専門部会
	8月28日	第3回開催（にぎわい補助金、ワークショップ、トークライブ、イノベーター報告）
	10月23日	第4回開催（未来学校、にぎわい補助金、R5計画進捗、ベイシア閉店）
	11月14日	まちなか活性化トークライブ
	11月28日	第3回専門部会
	12月10日	日本建築学会関東支部第24回提案競技公開審査
	12月14日	日本建築学会関東支部第24回提案競技パネル展示①（～12月28日）
	12月17日	第1回まちなか未来学校（山崎亮氏）
	12月22日	第5回開催（未来学校、視察研修、建築学会提案競技、イノベーター報告）
	1月23日	第2回まちなか未来学校（矢口真紀氏）
	2月9日	第6回開催（前橋市視察研修）
	2月22日	特別回まちなか未来学校（若旅宏和氏）
	3月8日	第3回まちなか未来学校（堤洋樹氏ほか）

	3月26日	日本建築学会関東支部第24回提案競技パネル展示②（～4月14日） 第7回開催（年間計画、専門部会提言、イノベーター報告）
	3月29日	専門部会提言書提出
令和6年度	4月20日	第1回まちなか未来学校（商工労働課まちなか活性化係）
	5月18日	第2回まちなか未来学校（土井一樹氏）
	5月28日	第1回開催
	6月15日	第3回まちなか未来学校（奈良のりえ氏）
	6月18日	第1回専門部会
	6月27日	第2回開催
	7月20日	第4回まちなか未来学校（いせさきまちなかシンポジウム） ／伊勢崎駅自由通路社会実験（ISESAKI TINY SHOP）（～8月31日）
	8月17日	第5回まちなか未来学校（北島勲氏）
	8月21日	学生と地域との連携によるシャレットワークショップ（～8月25日）
	8月26日	第2回専門部会
	8月29日	第3回開催
	9月21日	第6回まちなか未来学校（間々田久渚氏）
	10月11日	第7回まちなか未来学校（手島彰氏）
	10月19日	シンボルロード社会実験（次世代E-Lite）
	10月21日	第3回専門部会
	11月6日	第4回開催
	11月16日	第8回まちなか未来学校（宮本亨氏ほか）／シンボルロード社会実験（次世代E-Lite）
	12月21日	第9回まちなか未来学校（鈴木美央氏ほか）
	12月23日	第4回専門部会
	1月23日	第5回開催
	1月30日	第10回まちなか未来学校（西村真理氏ほか）
	2月22日	第11回まちなか未来学校（いせさきまちなか未来学校×まちおしアワード）
	3月1日	特別回まちなか未来学校（伊勢崎グルメ市／古本マルシェ）
	3月15日	第12回まちなか未来学校（塩崎啓示氏ほか）
	3月16日	第13回まちなか未来学校（堤洋樹氏ほか）
	3月25日	第6回開催
	3月 日	専門部会提言書提出



伊勢崎市まちなか活性化支援会議

令和7年度事業計画書（案）

（令和7年3月25日 作成）